



学校図書館 司書だより

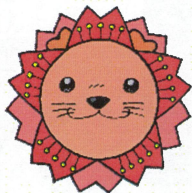
NO.49



今回の司書だよりは、美濃加茂市の小学校・中学校の図書館紹介です。子ども達は通いなれた図書館が大好き。でも、ほかの学校の図書館もちよっと気になる……。この素敵な図書館は、どこの学校図書館でしょうか？ぜひご家族でクイズに挑戦！（第一弾紹介 6校）

学校のドまんなか！にぎやか図書館

- ① すてきな本棚！
- ② 絵本コーナーはたたみでリラックス～♪
- ③ 本はともだち委員会の読み聞かせがいい☆



No.1

- ① 朝の光がすばらしく、まるで森の中！
- ② 新しい本も多いよ♪
- ③ ボランティアさんがたくさん読み聞かせをしてくれます☆



No.2

緑のオアシス

眺めの良い図書館

- ① 本の棚がぐるりと見わたせる☆
- ② 窓が多く、明るい雰囲気♪
- ③ 大きい子が小さい子に親切！



No.3

巨大ツリー出現！季節感あふれる図書館

- ① 巨大テントもさわやか風鈴もハロウィンお化けも出現しちゃう！
- ② 生徒リクエストの本が充実♪
- ③ ボランティアさんの会はいつも満員御礼☆



No.4



- ① 明るい室内♪
- ② おそうじバッチリいつでもピカピカ☆
- ③ 新しい本がすぐ読める！！



No.5

図書館ってほっとするね

広々ゆったり読書タイム

- ① 新しく見やすい本だな♪
- ② イスがたくさんあるので、いろんなところで本が読める☆
- ③ 休み時間の利用者が多い！



No.6



*クイズの答えは、第二弾 NO.50 号で発表！

読書タイム



にじのおはなし広場 ボランティア代表

美濃加茂市には中央図書館、東図書館とふたつの市立図書館があります。『にじのおはなし広場』は東図書館がオープンした平成八年から活動する読み聞かせボランティアです。二十二年で活動しています。当初は、午後二時から読み聞かせをしていましたが、今は午前十一時からに時間を変更しました。

私は、自分の子どもに読み聞かせをするのと同じように考え、オープンの時からボランティアに参加しています。最初のころは、二人の子どもを連れて行っていました。その後第三子、第四子と活動に同行していた子ども達は、もう成人となりました。先日、その第三子と第四子が「お母さんの読み聞かせって、大きい絵本が大きな紙芝居だったよね。」と話しているのを聞いて、練習台にしていたのだなと気づきました。第一子や、第二子の時には、寝る前に普通の絵本を読んでいたのですが、いつの間にか練習台としてしか読んでいなかったようです。

ある時、『おじいちゃんのごくらぐらぐらぐらぐら』という本を読みました。一人の子が「おじいちゃんが死んじゃってかわいそう。」という感想をくれました。別の子からは「おじいちゃん、幸せだったね。」という感想でした。その一言にほっとした覚えがあります。祖父母と同居のようでしたから、おじいちゃんのお気持ちを読み取ってくれたのだと思いました。感じたり、読み取ったりは、人それぞれ十人十色と思いますが、いろいろなものを見たり、聞いたり、経験したりして、もっともっと想像力を膨らませて、本の世界を楽しんで頂けたらいいなと思います。

●にじのおはなし広場●
土曜日 午前十一時〜
東図書館 おはなしの部屋



きてね!



「おとうとねずみチロのはなし」

森山京/作 講談社 1,320円



ねずみのチロは三匹きょうだいの末っ子です。兄さん姉さんとちいさなチロの様子がほほえましい！
小さなおはなしがいくつかあり、おはなしそれぞれのタイトルも「しましま」「すうすう」「くくん」などともかわいらしいです。ふりがなもついているので、1年生から自分でよむことができます。



「ひき石と24丁のとうふ」

大西暢夫/作 アリス館 1,760円



岩手県二戸市の山の中にちいさな豆腐屋さんがある。90歳をこえる小田山ミナさんのお店だ。目が不自由なミナさんは、音と匂いと手の感触だけで毎日24丁の豆腐をつくる。ひき石(石臼)を回す時間は、休み休みの6時間。素朴で優しい豆腐はミナさんそのものだ。なんと豊かな食べ物だろう。



この本
読んでみて!

事故・ケガで我が子を死なせないために

「子どもを全力で守る本」

中井宏・岡真裕美/編 いそっぷ社 1,650円



子どもの行動は想定外。「気を付けて！」と言われても、何にどう気をつけるのかわかりません。「よく見て！」と言われても、子どもなりに見ているのです。知っていれば防げる事故を減らすために、今一度、生活まわりを見直そうと思う本です。



「きつねの橋」

久保田香里/作 偕成社 1,540円



平安時代が舞台のファンタジー。主人公の平貞道は、化かされたことできつねの葉月と出会い、助け合って盗賊と戦ったり、あやかしと対峙したりして友情を深めていきます。読み進めていくうちに平安時代にタイムスリップした気分になります。歴史好きな人はもちろん、そうでない人にもおすすめです☆貞道の活躍にドキドキハラハラ、目が離せなくなりますよ。



このコーナーで本を紹介しているのは、市内の学校司書3人と中央図書館司書です。